

JR富山駅構内のデジタルサイネージの活用について

企画案 ～ものづくり県とやまの情報発信～

目的

JR富山駅構内のデジタルサイネージを活用し、北陸新幹線で来県するビジネスマンに「ものづくり富山」を積極的にPRし、県内企業の取引拡大や企業誘致につなげ、さらに、県民にも県内企業の魅力を再認識してもらい若者の定着やUターンにつなげる。

内容

- ・駅構内を移動中している乗客に、まず「見てもらう」、「興味をもってもらう」。
- ・単に製品・部品を見せるのではなく、技術力の高さ、品質への職人の心意気、製品を生み出す風土など製品の背景にあるストーリーも伝える。
- ・大型ディスプレイの表現力を活かし、**県内の豊かで美しい自然環境**や**多彩で芸術文化の魅力**など「とやまブランド」も含め情報を発信。

<イメージ>

●コンテンツ制作

「ものづくり」だけでなく、「観光」などの映像を発信するため動画・静止画を制作

①映像(動画)

- ・テーマを設定し、定期的に更新
(新幹線関連技術、薬都とやま、ものづくり大賞、伝統工芸、ガラスなど)

②静止画

- ・メッセージボード
(ビジネスイベント告知や立地環境PR、歓迎サインなど)

JR西と調整中



JR富山駅構内1階、新幹線のりばをつなぐエスカレーター側面

参考 新幹線関連技術



運転席フロントガラス



車軸ベアリング



客車の窓ガラス



客席シート

参考 富山県ものづくり大賞

第1回



太陽電池向けマルチウエハースライサ「PV800H」

第2回



汗・加齢臭 消臭下着 MXP

第3回



オゼックス細粒小児用15%